

地 元 密 着 通 信

各地区通信員のみなさんから届いた地元のできごとを紹介します！



Jimoto mitchaku
tsushin

あなたの地区ではどんなできごとがあったでしょう。ぜひチェックしてみてください！

中

央自治会

藤野 由紀子 通信員



あっという間の時間

今年の中央公園の桜は、気温が上
がったことで、4月初旬に一気に
咲き誇りました。いちにちでこれほ
ど違うのか、と驚くほどのスピード開
花。しかしその後の雨や強風の影響で
早くも散り始め：訪れた日、まだ気温
が上がらず、陽が差しているものの肌
寒い状況で、風が吹くと鼻の奥がツン
とする気候。辺りに人影はありません。
静かな中でお日様に照らされる桜を見
ながら歩いていると、鳥のさえずりが
聞こえ、空を舞う野鳥の陰に追い抜か
れることも。楽しいひとときではあり
ましたが、来年は長い期間お花見がで
きることを期待します。



これからもまだまだ
皆を癒してほしいもの
です



川

保南自治会

村上 修 通信員



認定こども園卒園式

3月18日、かわまた認定こども園
で卒園式が行われました。社会
福祉協議会佐藤会長の挨拶の後、園児
一人ひとりの名前が呼ばれ、塚野園長
から卒園するきりん組・らいおん組の
園児40名へ卒園証書が手渡されまし
た。その後、来賓の藤原町長からの祝
辞があり、続いて保護者会の会長から
祝辞と記念品の贈呈がありました。卒
園式終盤には、卒園する園児たちが、
楽しい園生活での思い出を振り返り、
一人ひとり元気に大きな声で別れの言
葉を述べました。こども園で過ごした
思い出を胸に小学校に入学しても元氣
に成長していくてください。



卒園する園児と、保護
者の笑顔と緊張がみら
れました



福

田自治会

三浦 栄梨佳 通信員



福田地区のシンボル

福田地区の象徴として親しまれて
いるのが、『秋山の駒ザクラ』
と『女神山』です。四季折々に表情を
変える女神山の姿と、春になると見事
に花を咲かせる駒ザクラの調和は、訪
れる人々の心を和ませ、地域の原風景
として大切に受け継がれてきました。
今年は、4月7日に満開を迎えた駒
ザクラ。女神山を背景に咲き誇り、ひ
ときわ美しく、地域の誇りとして訪れ
る人々の心をやさしく彩るようまし
た。4月19日には女神山の山開きが開
催され、登山の安全と無事を祈願し、
自然の豊かさを感じながら登山シー
ズンの始まりを迎えました。



今年も県内外から、登
山者が訪れ、山の魅力
に触れていました！



鶴

鶴自治会

長澤 文治 通信員



ボウリング大会を開催

3月14日、鶴沢自治会・鶴沢公民館主催、青少年育成会共催のボウリング大会を福島市で開催しました。大人13名、小学生2名が参加予定でしたが、インフルエンザにかかり小学生は1名だけとなりました。大会は、小学生の始球式で始まり2ゲームの合計点数で競いました。ストライクが決まるとハイタッチやロータッチで互いに祝福し、笑顔あふれる和やかな雰囲気が進みました。ストライクやスペアには賞もあり、盛り上がりを見せました。閉会式では、豪華な賞品が用意されていたほか、全員に参加賞も配られました。



久しぶりのボウリング場の進化に驚きました！球を投げる順番と得点が自動表示されます！

小

綱木地区自治会

菅野 松夫 通信員



地域防災スクール講座

小 綱木公民館主催、NPO法人ARJAPAN共催による『地域防災スクール講座』が30名の参加のもと小綱木公民館で開催されました。講師に大原真一郎氏を招き、能登半島地震後の生活支援活動に関する実体験の報告がありました。生活支援コー

ディネーターからは、地域の危険箇所パネルをもとに自分の住居は安全か、避難経路は確認してあるかななどの話がありました。清野公民館長から「いざという時の安心につながる講座でした」と講評があり、最後に炊き出し訓練で作ったカレーを参加者全員で美味しくいただきました。



右：ハザードマップを見ての座学！下：炊き出しを作り食べました



宮

赤自治会

丹野 早苗 通信員



安心して暮らしています

住 nderいる地域の安全が保たれているのは、気付かないところで働いてくれている人たちのおかげです。空き地に生い茂っていた草が綺麗に刈り取られていたり、大雪の日の朝、いつの間にか除雪されていたり。気付かずに生活している事もほとんどかと思えます。以前、大雪の日の朝、緊急時にも直ぐに対応できるようにと、消防団員の方が消火栓の付近を除雪されていました。寒い時期の乾燥した夜には、火災予防の夜廻りの活動もされています。私たちは、そのような方に日頃から感謝の気持ちを伝えられたらと思います。



「草刈り戦隊5レンジャー」かな？笑



山

木屋地区自治会

菅野 源栄 通信員



平和を祈り、凧を揚げる

3月15日、パレスチナ自治区ガザとの交流事業を続ける「ガザ・ジャパン希望の凧揚げ交流会実行委員会」主催で、平和の想いを白い凧に綴った「凧揚げ」が山木屋小中学校で行われました。この事業の始まりは、2011年、東日本大震災が起き、世界中から多くの支援が届けられました。その中には、戦争と軍事衝突に見舞われているガザ地区に生まれた平和を知らない子どもたちからの支援もありました。また、震災後から1年経った2012年3月、日本の復興を願い1000人以上の子どもたちがガザで凧を揚げたそうです。



白凧にパレスチナ自治区ガザへの平和メッセージを描きました！

